

## 設備や電力の遠隔管理を開発不要で実現、 LTE Cat.1 bis 対応の産業用 IoT ルーターを SORACOM IoT ストアで提供開始

RS-485/Modbus RTU 機器のデータ収集からクラウド連携まで、  
ルーター本体の開発なしで構築可能

株式会社ソラコム(本社:東京都港区、代表取締役社長 CEO:玉川 憲)は、産業用 IoT ルーター「Armadillo-IoT ルーター A9R Cat.1 bis+WLAN モデル」と SORACOM IoT SIM がパッケージになったスターターキットを、2026年3月18日より SORACOM IoT ストアにて提供開始します。



本製品は、IoT デバイス向け通信規格である LTE Cat.1 bis に対応した省電力の産業用 IoT ルーターです。LTE Cat.1 bis は、実用的な通信速度と省電力性を特徴とするセルラー通信規格で、センサーデータの定期送信や IoT データ収集・遠隔監視、デバイス内のソフトウェアのリモートアップデートなどに適しています。

製造業や建設、インフラ管理などの現場では、設備の稼働状況や電力使用量の遠隔モニタリングへのニーズが高まっています。一方で、既存設備へ IoT を導入する際には、専用ソフトウェア開発や通信環境の構築が課題となるケースがありました。

本製品は、こうした課題に対応するために設計されています。標準搭載されているクラウド I/O マネージャー機能により、IoT ルーター本体の開発をすることなく、RS-485 / Modbus RTU 接続機器のデータの収集や AWS や Microsoft Azure とのクラウド連携を実現します。

動作温度範囲  $-20^{\circ}\text{C}$  ~  $+60^{\circ}\text{C}$  の幅広い産業用途でのユースケースで導入いただけます。シャットダウンモードやスリープモードによる間欠動作にも対応し、省電力での運用ができるほか、市販のソーラーパネルとバッテリー等を組み合わせた自立給電型システムとしての利用も可能です。さらに、IoT セキュリティ適合性評価制度「JC-STAR」の★1 に適合しており、継続的なソフトウェアアップデートにより長期的に安全な運用を支援します。アットマークテクノのデバイス管理サービス「Armadillo Twin」と連携することで、遠隔地に設置されたルーターの稼働監視やアップデート管理もクラウドから実施できます。

本製品の提供開始にあわせて、SORACOM IoT DIY「IoT で電力量モニターを可視化」も公開しました。本レシピでは、Armadillo-IoT ルーター A9R と Modbus RTU 対応の小型電力量モニター「KM-N1-FLK」を組み合わせ、遠隔地の電力使用状況をモニタリングする手順を紹介しています。取得したデータは IoT プラットフォームのサービスを利用して収集し、ダッシュボードとして可視化できます。

ソラコムは、IoT 活用をもっと身近にするべく、お客様、パートナー企業とともに社会やビジネスのイノベーションに貢献していきます。

# Armadillo-IoT ルーター A9R Cat.1 bis+WLAN モデル スターターキット

## 提供開始日

2026年3月18日(水)

## 製品詳細

商品名: Armadillo-IoT ルーター A9R Cat.1 bis+WLAN モデル スターターキット

提供元: 株式会社アットマークテクノ



## キット内容

- Armadillo-IoT ルーター A9R Cat.1 bis+WLAN モデル 本体
- LTE ホイップアンテナ
- WLAN ホイップアンテナ
- AC アダプタ
- SORACOM Air 日本カバレッジ IoT SIM カード plan-K2 (K2-500MB)
- SORACOM サービス利用料 2,000 円分のクーポン(6 ヶ月有効、クーポンは日本カバレッジのサービスにのみ適用可)

定価 43,780 円(税込、送料別)

<https://soracom.jp/store/34231/>

## IoT DIY レシピ



【IoT DIY レシピ】IoT で電力量モニターを可視化

想定制作時間:120 分

難易度:★★☆☆☆

本レシピでは、Armadillo-IoT ルーター A9R と Modbus RTU 対応の小型電力量モニター「KM-N1-FLK」を組み合わせ、遠隔地の電力使用状況をモニタリングする手順を紹介しています。取得したデータは SORACOM Harvest Data に送信され、SORACOM Lagoon でダッシュボードとして可視化できます。電力使用量に閾値を設定してアラートを発報することも可能で、設備の異常検知や省エネルギー管理への活用が期待されます。

また、既設電線に取り付け可能な分割型変流器(CT)を利用するため、大規模な工事を行うことなく後付けで計測を開始できます。有線 LAN の敷設が難しい工場、倉庫、テナントビルなどの拠点において、導入しやすい構成となっています。

[https://soracom.jp/recipes\\_index/34240/](https://soracom.jp/recipes_index/34240/)

## SORACOM IoT ストアについて



SORACOM IoT ストアは、活用実績のある IoT デバイスを、ウェブサイト上での手続きのみで、買って試すことができる、IoT デバイス通販サイトです。一部のデバイスに用意されている「IoT DIY レシピ」は、必要となる機材一覧と、デバイス開発からクラウド連携までのステップ毎に解説する手順書です。「温度度の計測」、「遠隔アクセス」、「冠水検知」などの具体的な IoT 活用シーン別に無料で公開しており、IoT システム開発の初心者をサポートしています。

SORACOM IoT ストア <https://soracom.jp/store/>

## ソラコムについて

AI/IoT プラットフォーム SORACOM は、世界 213 以上の国と地域でつながる IoT 通信を軸に、IoT を活用するために必要となるアプリケーションやデバイスなどをワンストップで提供しています。製造、エネルギー、決済などの産業 DX から、イノベーティブなスタートアップ、農業や防災など持続可能な地域社会を支える取り組みに至るまで、さまざまな業界・規模のお客様にご活用いただいています。

コーポレートサイト <https://soracom.com>

本ニュースに関するお問い合わせ  
株式会社ソラコム 広報 田淵  
pr@soracom.jp